

NEXCO中日本 ETC専用料金所

NEXCO中日本は、令和8年春から新たに35料金所でETC専用料金所の運用を開始する。

No	道路名	IC名(料金所の所在地)	運用開始日時
1	東名高速道路	東名川崎IC(神奈川県川崎市)	令和8年3月9日(月) 15時~
2	首都圏中央連絡自動車道	海老名IC(神奈川県海老名市)	令和8年3月16日(月) 15時~
3	東名高速道路	秦野中井IC(神奈川県秦野市)	令和8年3月16日(月) 15時~
4	中部横断自動車道	白根IC(山梨県南アルプス市)	令和8年3月16日(月) 15時~
5	首都圏中央連絡自動車道	相模原愛川IC(神奈川県相模原市)	令和8年3月23日(月) 15時~
6	新東名高速道路	森掛川IC(静岡県周智郡森町)	令和8年3月23日(月) 15時~
7	東名高速道路	菊川IC(静岡県菊川市)	令和8年3月23日(月) 15時~
8	東名高速道路	磐田IC(静岡県磐田市)	令和8年3月23日(月) 15時~
9	中央自動車道	相模湖東IC(神奈川県相模原市)	令和8年3月23日(月) 15時~
10	中央自動車道	勝沼IC(山梨県甲州市)	令和8年3月23日(月) 15時~
11	中央自動車道	諏訪南IC(長野県諏訪郡富士見町)	令和8年3月23日(月) 15時~
12	新東名高速道路	藤枝岡部IC(静岡県藤枝市)	令和8年3月25日(水) 15時~
13	新東名高速道路	新秦野IC(神奈川県秦野市)	令和8年3月30日(月) 15時~
14	新東名高速道路	清水いはらIC(静岡県静岡市)	令和8年3月30日(月) 15時~
15	中部横断自動車道	南アルプスIC(山梨県南アルプス市)	令和8年3月30日(月) 15時~
16	長野自動車道	塩尻IC(長野県塩尻市)	令和8年3月30日(月) 15時~
17	中央自動車道	甲府南IC(山梨県甲府市)	令和8年3月31日(火) 15時~
18	伊勢湾岸自動車道	湾岸弥富IC(愛知県弥富市)	令和8年4月6日(月) 10時30分~
19	伊勢湾岸自動車道	名港潮見IC(愛知県名古屋市)	令和8年4月6日(月) 10時30分~
20	伊勢湾岸自動車道	弥富木曾岬IC(愛知県弥富市)	令和8年4月6日(月) 15時~
21	伊勢湾岸自動車道	飛島IC(下り線入口・上り線出口) (愛知県海部郡飛島村)	令和8年4月6日(月) 15時~
22	東名阪自動車道	桑名IC(三重県桑名市)	令和8年4月7日(火) 10時~
23	東名阪自動車道	長島IC(三重県桑名市)	令和8年4月7日(火) 10時30分~
24	伊勢湾岸自動車道	湾岸桑名IC(三重県桑名市)	令和8年4月7日(火) 10時30分~
25	伊勢湾岸自動車道	みえ朝日IC(三重県三重郡朝日町)	令和8年4月7日(火) 15時~
26	東海北陸自動車道	尾西IC(愛知県一宮市)	令和8年4月8日(水) 10時30分~
27	東海北陸自動車道	関IC(岐阜県関市)	令和8年4月8日(水) 15時~
28	東海北陸自動車道	一宮西IC(愛知県一宮市)	令和8年4月9日(木) 10時~
29	東海環状自動車道	美濃加茂IC(岐阜県美濃加茂市)	令和8年4月9日(木) 10時30分~
30	伊勢湾岸自動車道	湾岸長島IC(三重県桑名市)	令和8年4月9日(木) 10時30分~
31	東海環状自動車道	豊田藤岡IC(愛知県豊田市)	令和8年4月9日(木) 15時~
32	東海北陸自動車道	一宮木曾川IC(愛知県一宮市)	令和8年4月10日(金) 10時~
33	名古屋第二環状自動車道	千音寺南本線料金所(愛知県名古屋市)	令和8年5月11日(月) 11時~
34	名古屋第二環状自動車道	飛島北IC(外回り)(愛知県海部郡飛島村)	令和8年5月11日(月) 16時~
35	名古屋第二環状自動車道	清洲東IC(内回り)(愛知県清須市)	令和8年5月12日(火) 10時~

首都高速道路 ETC専用料金所

首都高速道路株式会社は、令和8年度に新たに44箇所(累計134箇所)でETC専用料金所の運用を開始する。

ETC専用の料金所(134箇所)

2025年度末までに専用化予定(90箇所) 2026年度に専用化予定(44箇所)

料金所	
都心環状線	宝町、銀座(外)、汐留、芝公園(内)(外)、飯倉、霞が関(内)(外)、代官町、神田橋(内)(外)
1号上野線	本町(上)(下)、上野、北上野[入谷]
1号羽田線	芝浦(上)(下)、鈴ヶ森、勝島、空港西、羽田(上)(下)
2号目黒線	天現寺
3号渋谷線	高樹町、渋谷(上)(下)、池尻、三軒茶屋
4号新宿線	外苑(上)(下)、代々木、新宿、初台、幡ヶ谷、永福(上)
5号池袋線	一ツ橋、西神田、飯田橋、護国寺、東池袋、北池袋、板橋本町(上)(下)
6号向島線	箱崎、浜町、駒形、向島(上)(下)、堤通(上)(下)
6号三郷線	加平(南)(北)、八潮南(上)(下)
9号深川線	福住、木場、塩浜
10号晴海線	豊洲、晴海
11号台場線	台場
中央環状線	中環大井南、五反田、富ヶ谷、初台南、中野長者橋、西池袋、高松、滝野川、王子南、王子北、扇大橋(内)(外)、千住新橋(内)(外)、小菅、四つ木(内)(外)、平井大橋、船堀橋、清新町
川口線	鹿浜橋(上)(下)、加賀、足立入谷、新郷(上)(下)、安行
埼玉新都心線	新都心西(上)(下)、新都心(上)(下)、さいたま見沼
埼玉大宮線	浦和南(上)、浦和北
湾岸線	湾岸環八、臨海副都心、大井、新木場(西)(東)、葛西(西)(東)、浦安(西)(東)、杉田(西)(東)、磯子、三溪園、大黒ふ頭
神奈川1号横羽線	大師(上)(下)、浜川崎、浅田、汐入、生麦、子安(上)(下)、東神奈川(上)(下)、横浜駅東口、みなとみらい(上)(下)
神奈川2号三ツ沢線	横浜駅西口
神奈川3号狩場線	石川町、阪東橋、花之木、永田、新山下(上)(下)
神奈川6号川崎線	殿町
神奈川7号横浜北線	岸谷生麦(上)(下)、新横浜(上)(下)、馬場

※最新の情報についてはホームページ(https://www.shutokei.jp/ss/etc_only_no_cash/)を確認。

五輪

2月中旬を迎え、イタリアのミラノとコロネーナで開催中の冬季五輪に、世界中が沸き立っている頃でしょう。華やかな競技の裏側では、選手や観客を運ぶ道路インフラがフル稼働しています。雪水に覆われた山岳地域における除雪、凍結防止対策、さらには緊急輸送の確保といった、日頃は目に触れにくい地道な取り組みは、昨年度本で開催された大阪・関西万博においても同様で不可欠な役割を果たしています。今回は、国際イベントを支える道路インフラの「舞台裏」を覗いてみようと思います。

五輪と万博が示す

道路管理の未来

会場がミラノからコロネーナまで、東京一名古屋間に匹敵する約400kmもの広範囲に点在する大会。四国全土を上回る広大なエリア(22,000km²)に会場が分散しており、これらを結ぶ移動効率の確保が最大の課題です。この課題に対し、新規建設を最小限に留め、既存の道路網に5GやIoTを組み込んだ「デジタル・コリドー」を構築することで、広域な交通流のリアルタイム管理を実現しています。輸送の柱には鉄道とバスを統合した公共交通網を据え、専用レーンの設置や厳格な交通規制を

通じて、環境負荷を抑えつつ確実な動線を担保。こうした既存資産のスマート化は、大会後も地域に根ざす『持続可能な交通遺産(レガシー)』の先駆的なモデルになると期待されています。一方、大阪・関西万博では、道路の概念そのものを広げる挑戦がありました。路面にコイルを埋め込み、走行中のEVバスへ非接触で給電するDWP(T(走行中給電の実証は、道路を「動きながらエネルギーを得られる場」へと変える象徴的な技術として大きな関心を集めました。両イベントに共通するのは、デジタル技術を活用して「道路をより賢く、多機能に使うこと」です。ミラノ五輪が広域分散という空間的な課題を「情報の管理」で乗り越えようとしている一方で、大阪万博は「道路に新たな役割を持たせる機能進化」の姿を提示しました。アプローチこそ異なりますが、これら世界的なイベントで示された知見は、将来のあらゆる都市が直面する「環境と移動の両立」という共通課題に対する有力なヒントになりそうです。

高速道路の通行止め・規制情報

- 【工事通行止め】
 - ◇山陽自動車道 下松SA(上下線) 3月2日(月)~3月6日(金) 各日8:00~18:00
 - 【リニューアル工事】
 - ◇上信越自動車道 佐久IC~碓氷軽井沢IC(上り線) 3月2日(月)~8月6日(木) 終日
 - ※3月7日(土)、8日(日)、20日(金)、21日(土)、22日(日)、4月25日(土)~5月6日(水) 除く
 - ◇小田原厚木道路 小田原東IC~二宮IC(上下線) 4月6日(月)9:00~8月5日(水)24:00
 - ※4月11日(土)、12日(日)、18日(土)、19日(日)、4月25日(土)0:00~5月7日(木)8:00除く
 - 【集中工事】
 - ◇名古屋第二環状自動車道 上社南IC~名古屋JCT(内外回り) 東名阪自動車道 名古屋西IC~亀山IC(上下線) 4月1日(水)22:00~4月24日(金)6:00

【阪神高速おでかけパス2025限定!】「お得なクーポンde石切・布施めぐり」

https://www.hanshin-exp.co.jp/drivers/news/20260130_news_2025de.html

※販売上限額に達し次第終了となります。

阪神高速道路株式会社は、東大阪市及び一般社団法人東大阪ツーリズム振興機構と共催し、石切参道商店街・布施商店街と連携した限定企画「お得なクーポンde石切・布施めぐり」を、阪神高速おでかけパスの観光施設セットプラン内で販売している。

《キャンペーン内容》

阪神高速おでかけパス「大阪周遊コース(観光施設セットプラン)」または「神戸周遊コース(観光施設セットプラン)」の購入者向けに、販売価格500円の周遊クーポンをセット販売している。クーポンは抽選形式で、必ず1,000円分のクーポンが当たる。引換後は、対象店舗での食事や買い物に利用できる。

《販売期間》

令和8年3月29日(日)まで

《クーポンの引換期間》

令和8年1月31日(金)~3月29日(日)まで

《引換え済みクーポンの使用期間》
令和8年1月31日(土)~4月30日(木)まで